



Dream

2011 年 8 月 号
Vol. 45-2 2011. 8. 1
Bulletin

会長標語 熱 き 絆

国 際 会 長 主 題 「とにかくやろうー 成せば成る」

Finn A. Pedersen (ノールウェイ)

アジア地域会長主題 「とにかくやろうー 成せば成る」

Wichian Boonmapajorn (タイ)

西日本区理事主題 「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」

浅岡 徹夫 (近江八幡クラブ)

中 部 部 長 主 題 「先ず一歩 楽しもう、学ぼう、働こう、そしてつなげよう」 長谷川和宏 (名古屋東海クラブ)

ク ラ ブ 主 題 「限りなき熱情を奉仕に」

今 月 の 聖 句

地とそれに満ちているもの、世界とその中に住むものは主のものである。まことに主は、海に地の基を据え、また、もろもろの川の上に、それを築き上げられた。だれが、主の山に登りえようか。だれが、その聖なる所に立ちえようか。手がきよく、心がきよらかな者、そのたましいをむなしいことに向けず、欺き誓わなかった人。その人は主から祝福を受け、その救いの神から義を受ける。

詩篇 24 篇 1 節～5 節

強調月間 評価・計画

例会ご案内	
◎8月第1例会 日時：8月11日(木) 18:45～20:45 会場：ラ・スースANN Tel. 052-950-0280 担当：遠藤彰一君、杉山敏雄君 八木武志君 開会宣言・点鐘 柴田洋治郎会長 ワイズソング 5つの信条 鈴木一弘君 食前の感謝 松本 勝君 一會食一 *** オークション *** メンバースピーチ 鈴木孝幸君 報告 閉会宣言・点鐘 柴田洋治郎会長 ◎8月第2例会 日時：8月18日(木) 19:00～20:30 場所：名古屋YMCA 会議室 *9月第一例会担当：柴田洋治郎君	◎第15回中部部会・評議会・メネット会 日時：2011年8月28日(日) 受付 12:30～ 会場：名鉄ニューグランドホテル(新幹線口) 7階 椿の間・扇の間 登録費：10,000円(フェロシップ含む) プログラム 中部評議会 12:00～ メネット会 13:00～ 中部部会 13:30～ 講演会 14:30～ 講師：高井一氏 名古屋テレビ編成局専門局長 「はじめの一歩 名古屋から発信」 ミニコンサート 15:20～ アルバ演奏：大宮陽子氏他 フェロシップアワー 15:40～17:30 ***** 今月の第一例会はオークションです。 出品とお買い上げのご協力をお願いします。 *****

7月報告(7月21日現在)

在籍者：正会員21名 広義会員1名 出席者：18名 7月暫定出席率：85.7%

例会は出席第一、欠席の場合は連絡主事まで連絡を!

強い義務感を持とう、義務はすべての権利に伴う。



会長メッセージ ②

会長 柴田 洋治郎
メールについて

会長就任以来、7月1日～24日に私が受け取った、ワイズ関係者からのメールは24件に上ります。勿論ワイズに関する大切な情報が主ですが、中には、転送等による重複情報も散見されます。この件数は、私がわが社で受け取るメール件数を上回っていることから判断しても、相当多いと考えられます。

メールの利用度が高まったのは、世の中の流れと並行してここ数年の現象と思われます。私がEMCの中部主査を担当していた3年前の実績表等の伝達手段はまだFAXが主体でした。メールは情報伝達手段として、正確に、迅速に、大量に、更には上書きにより情報を加工することも可能という点において極めて有益なものです。しかし、これほどの大量のメールが来ると、私には、その重要性の取捨選択が悩ましい問題となっています。例会で報告または協議するのはどれかと。

世の中には、高齢者を中心に（わがワイズも例外ではない）パソコン及びメールに慣れない人も数多くいて、情報量の偏在という面において一部社会問題化しています。パソコンもメールも単に事務処理または情報伝達の一手段に過ぎず、ITを絶対視してはならないと思います。

皆さんのご意見はいかがですか。

7月裸で語り合う会の報告

●御在所で第44回総会

7月2日（土）～3日（日）

オテル・ド・マロニエ湯の山

湯の山のオテル・ド・マロニエにおいてクラブ総会（裸の会）が開催され、四日市クラブの会員5名を含め21名が参加、内14名が宿泊した。

夕方6時より開会式の後、議事に入り、最初に八木直前会長より前年度の活動報告があった。その主な内容は、①例会出席率は、年間90%達成賞受賞②EMCは残念ながら、新規会員獲得はならず、逆に1名のドロップをみた③YMCA行事への参加は従来同様、積極的に行われた④CS献金、BFとも受賞を果たした⑤DBCは御殿場クラブと締結⑥ホームページは中部HPの中で、仮開設された⑦根の上キャンプ場整備では、湿地整備費の予算措置が必要との意見も出されました。続いて、前年度一般会計報告に移り、柴田前会計より、予算対比及び前年収支実績対比とも大幅な好転を見たが、その中身は入金面では会費の前受金が25万2千円あったこと、支出面では多くの事業予算項目が消化されなか

ったことによるものである。財務的にはプラスの半面、事業の活発化に必要な経費は議論の上、支出を行っても良いとの指摘も行われた。

特別会計報告では鈴木浩之前年及び当年度担当より行われ、実績はほぼ予算通り執行され、当年度予算は入出金とも前年比若干プラスの内容となった。

議事終了後、会食に移り、アルコールも手伝って、四日市のメンバーの皆さんとの話も弾み、賑やかに和やかな内に食事を終えて、役員の引き継ぎ式も行われた。当日夜の宿泊者は四日市クラブと一部の所用のあるメンバーを除き、14名が宿泊した。就寝まで眠気を吹き飛ばす、白熱した議論を交わす者もいた。

翌朝、プログラムに沿い、礼拝後、新会長の感話、今年度活動方針案の報告の後、今年度一般会計予算案が説明された。この中で長谷川中部部長を資金面でサポートするための予算措置が報告された。また財務面での理想は会員を増やし、活動費も増やす拡大均衡が望ましいとの意見も出された。

その他として、①総会開催日は会計締切の都合上、6月末直後ではなく、原則第2土曜とする②ラ・スースの例会場の席の取り方に関し、偏りがあるとして、毎回フレキシブルに変える方が良い③ゲストスピーチのスタートが遅い傾向があるとして、7時30分にはスタートする習慣をつけることが必要との提言等がなされた。

総会収支については24千円余剰が生じた（飲み代が予算を大幅に下回った）ので、一般会計の雑収入に計上した。（柴田 洋治郎記）

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

7月第2例会報告

第2例会での協議・決定事項は以下のとおり。

- ① 8月第一例会はオークション。担当は遠藤君、杉山君、八木君の3名
- ② 今季もメンバースピーチを継続して行う。8月担当は鈴木孝幸君をお願いをする。
- ③ CS 資金申請については、今季は申請をしないことにした。
- ④ 名古屋地区ワイズ連絡会（7月27日）は会長が出席をする。
- ⑤ 7月28日の中部部会実行委員会は拡大準備委員会とし、極力参加を呼びかけることとした。
- ⑥ 同じく8月28日の中部部会は東海クラブのメンバーは全員参加をブリテンで呼びかける。
- ⑦ 各クラブにおける会員の年代構成と平均年齢調査



票は会長が取りまとめることとした。

⑧東日本大震災復興支援事業アンケートは浅野君が取りまとめることとした。

⑨鈴木孝幸君に西日本区組織検討・安全対策委員の委嘱状が会長より手渡された。

⑩ブリテン 4 ページ目のクラブ役員名に誤りがあるので訂正するようにとの指摘があった。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

根の上キャンプ場、整備活動奮戦記

7月23日、24日に、これで何度目になるのか数えることも出来ないほどだが、整備作業を行った。あいにく、日和田のワークと日程が重なったことから、代表して八木メンが日和田キャンプ場を訪問。その足で根の上へ合流した。

参加者は5人。夏しかできない宿泊付きの作業で、23日の午前から、三々五々集まったワーク参加者は、それぞれ食材や準備資材を持ち寄って集合。到着した者から、それぞれの役割を自分で判断し、早速作業を始める。これまで広場を暗く覆っていた立木は伐採され、広場の脇に固められていましたが、作業の度に杉山メン（火の神様）の指導によって焼却され、そのほとんどが処理されました。橋爪メンは火の神様の指導により、火の番を仰せつかり、焚きつけの板類をせっせと運ぶ係。23日だけでも、整備はみるみる進み、広場はかなり広くなってきました。次の新キャビンを建設する場所も整備が進んでいます。

八木メンは一人で黙々と厨房棟の塗装作業。半日で塗料の1缶が終了したところで、塗り残しは次の機会に残し「ああ、きれいに生まれ変わった」と自賛。またユンボをトラックに積んで運んできた山村メンは、切り株の掘り起こし、石運び、丸太運びと、人の手では半日以上かかる作業を、あっという間にこなしていききました。（写真上＝新築のような厨房棟、下は「火の神様」が丸太焼却の指導中）

夜は鉄板を持ち出して焼き肉パーティーです。漆黒の闇に包まれた根の上は、たき火の明かりとトイレ横の電球の明かりだけで、虫の声しか聞こえません。ビールを飲みながら、一日の作業を振り返り、整備完遂の夢を語り合いました。

あと、もう一息。新しい根の上を夢見ています。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

中部だより ②

中部部長 長谷川 和宏

梅雨明けが早かった割に、真夏らしくない天候不順。長～い夏はまだまだ続きます。

今期スタートして1カ月。思いのほか、中部の実務が多いのに圧倒される。

今月は、28日（日）開催の中部部会準備がメインの月です。

参加者確保が第1の課題。会場定員を集めなければ、中部部会は始められない。部会は、イベントがそのまま、「楽しむワイズ」「学べるワイズ」「働けるワイズ」「つなげるワイズ」に直結し、実感できることをすべてのワイズメンに呼びかけたい。

先月時点でクラブの構成メンバーの年代調査が行なわれた。当然ながらも5年間で平均年齢は確実に上昇しています。東海クラブも多少出入りがあったものの、プラス3歳アップ。

だからこそ、EMC。EMC＝「楽しむワイズ」「学べるワイズ」「働けるワイズ」「つなげるワイズ」＝中部部会の成功と確信しています。

部会当日の役割も決まりました、事務局もがんばります。皆さま、ご協力ください。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

今月28日は中部部会です

一人でも多くの参加を！！

長谷川中部部長の任期が始まり、いよいよ昨年から準備を進めてきた第15回中部部会が、今月28日（土）に名古屋新幹線口の名鉄ニューグランドホテルで開催されます。

申し込み一次締切を7月末で集計していますが、今までのところ残念ながら事務局予測を大幅に下回る人数となっており、目標120名の数字にはほど遠いのが実情です。

中部部会はワイズ活動の基盤である、それぞれのクラブが、その地域ごとに集まり、地域のワイズ活動を確かめ合う機会となっています。毎年、中部に属する各クラブが、持ち回りで部会をホストしていることはご存知の通りで、東海クラブは8年前の2003年9月に名古屋国際会議場で第7回中部部会以来となります。長谷川部長を支え、ぜひこの部会を成功させなければなりません。

あと一カ月を切りましたが、これからが準備の本番です。去る7月28日に中部事務局会議の拡大準備会を開催し、プログラムと大筋の役割分担が決まりました。皆さんにお役をお願いすることになると思いますが、何よりも皆さんこそぞっての参加をよろしくお願いします。（実行委員長 橋爪 良和）

お誕生日おめでとうございます

メ ン 8月10日 野村 秋博君
メ ネット 8月1日 加藤 慶子さん
8月4日 鈴木 智子さん
8月20日 杉山 由香里さん



今月の西日本区強調月間は *Youth Activities* です。

今月の西日本区強調月間は Youth Activities です。藤川洋Yサ・ユース事業主任(広島クラブ)はユースと共にワイズの世界を拓きましょう！とアピールをされています。

東海クラブだより

◇大震災支援募金が続きます。4カ月たった7月11日は、名古屋YMCAスタッフとワイズメン、計12名で実施。夕方6時から1時間ほどの呼び掛けでしたが、13630円が集まりました。東海クラブからも3人が参加。とくに今回は被災地へのユースボランティアの派遣費用と、被災地の子供達のためのキャンプ費用にすることをアピールしました。あの震災から時間は確実にたっていますが、復興はこれからです。立ち止まって千円札を入れて頂いたおばあさんに感謝します。8月11日も実行します。

◇復興支援のため7月25日から東北へ向かったわが東海クラブの鈴木一弘メンは現在、仙台YMCAを拠点に各地を移動。支援活動を続けています。その活動レポートが中部の公式HPに随時、掲載されていますので、ぜひご覧ください。

◇名古屋YMCAは福島の子供たちをこの夏のキャンプに無料招待し、放射能のない自然の中で生活をしてもらうプログラムを実施します。



編集後記 ◆現在は「戦後」ではなく、「震災後」なのだという思いを強くします。あの時が、日本人の生き方や考え方のターニングポイントになったような気がします。生きていく上で、本当に必要なものは何か。いきがいとは何か、正義とは何か、絆とは何か。豊かさとは何か。それらのすべてを考えさせられ、今までの自分たちの行動や価値観が問い直されています。

◆恐らく、これからかなり長い期間、日本の政治や経済は混迷を深めることでしょう。それは過去の歴史が証明しています。と同時に、新しい時代の始まりであることも証明されているのです。自分の自然な気持ちを大切に生きていきましょう。(Y. H)

No.	開催日	7 / 2 第1例会	7 / 21 第2例会	7 / 23 ・ 24 日 根の上	7 / 28 中部 拡大 準備 会	フ ァ ン ド ポ イ ン ト
1	浅井 秀明	広 義 会 員				
2	浅野 猛雄	○	○	○	○	3950
3	伊藤 貴久	○				4450
4	遠藤 彰一	○			○	16100
5	加藤 友昭					4500
6	柴田 洋治郎	○	○		○	8100
7	菅沼 東平					500
8	杉山 敏雄	○	○	○	○	16300
9	鈴木 一弘	○				
10	鈴木 孝幸		○			30000
11	鈴木 浩之	○	○			6050
12	野村 秋博	○			◎	15550
13	野崎 勉					1000
14	橋爪 良和	○		○	○	13400
15	長谷川 和宏	○			○	8350
16	服部 敏久	○				2750
17	東田 美保	○	○		○	1950
18	深川 直	○	○			11900
19	松本 勝	○				4700
20	八木 武志	○		○	○	11300
21	山田 英次	○				6200
22	山村 喜久	○		○		7700
ゲスト	四日市クラブ	5名				

◆2011～2012年度クラブ役員

会 長：柴田 洋治郎 副会長：服部 敏久
直前会長：八木 武志 書 記：浅野 猛雄
一般会計：深川 直 特別会計：鈴木 浩之
連絡主事：東田 美保

YMCAサ・ユース 鈴木(一)、加藤
地域奉仕・環境 松本、野崎
EMC(会員増強) 八木、山田
ファンド(クラブファンド)

鈴木(孝)、遠藤、鈴木(浩)
交流(IBC、DBC) 野村、鈴木(孝)、橋爪
広報・ブリテン 深川、橋爪、菅沼
同(発送) 浅野、長谷川、八木
根の上担当 山村、伊藤、杉山、八木
メネット連絡員 浅野
メール連絡員 柴田 【敬称略】

◆中部役員

部長 長谷川 和宏 書記 八木 武志
会計 松本 勝 事務局長 浅野 猛雄
部会実行委員長 橋爪 良和
同副委員長 服部 敏久 【敬称略】